

令和7年度山梨県普及センターだより（8月号）

南部茶「プレミアムティー」の開発と販売支援

峡南地域普及センター

山梨県の最南端・南部町では、雨が多く温暖な気候を生かして、戦国時代から続くとされる茶の栽培が行われており、「南部茶」として親しまれてきました。しかし、近年では、嗜好や世帯構成の変化等を原因とする茶の消費量の減少が産地維持の課題となっています。

そこで、南部茶のブランド価値向上を図るため、「山梨県茶振興協議会」では、一番茶の手づみの茶葉のみを使用したお茶を、専門家からのアドバイスを取り入れたパッケージで包み、プレミアムリーフティー「甲斐のきらめき」として、「白鳥」と「天子」の2種類を開発し、J Aが販売しています。

このお茶は、南部茶のフラッグシップとして、南部町のふるさと納税返礼品や県内高級レストランで活用されているほか、J A山梨みらいの直売所等で直接お買い求めいただくこともできます。

峡南農務事務所では、更に、有機栽培の栽培技術指導等を行うとともに、販路拡大に向けた取り組みを支援していきます。



購入はこちら

南部町ふるさと納税HP



プレミアムリーフティー

詳しくは J A山梨みらいHP



商品検討会の様子



プレミアムリーフティー「甲斐のきらめき
（白鳥・天子）」